

7月21日のウクライナ情報

安齋育郎

●クリミア橋攻撃へのロシアの報復措置？(2023年7月18日)

ロシアは穀物合意を離脱、黒海における航行の安全は今後保証しないと国際海事機関 IMO に通告し、人道回廊を閉じた。

そして、現在、ウクライナ側黒海沿岸や近辺水域には船舶は一隻も確認されない。ウクライナは黒海への出口を完全に失った。



●ペスコフ報道官の弁(2023年7月18日)

ロシアは貧しい国々を穀物で支援する、モスクワの立場は変わっていない - ペスコフ報道官。「穀物取引の義務を果たしていないヨーロッパ諸国の立場は不謹慎だ。ウクライナは軍事目的で穀物回廊を利用している」。

 Russia will support poor countries with grain, Moscow's position has not changed - Peskov.

"The position of European countries that have not fulfilled their obligations under the grain deal is unscrupulous. Ukraine uses grain corridors for military purposes."

[ツイートを翻訳](#)



t.me/IntelRepublic

●ウクライナ国防相は娘のために何も惜しまない(2023年7月19日)

ウクライナのレズニコフ国防相は、戦争にもかかわらず(戦争のおかげで)、娘のアナスタシアにカンヌの別荘を 700 万ユーロで購入した思いやりのある父親である ☺

この父親が次は娘に別荘買ってあげられるように、もっとウクライナにお金を送金してね

<https://twitter.com/i/status/1681454483094798347>



●米海軍所属の生物研究所、あちこちに(2023年7月19日)

ロシア国防省は、米国がウクライナ等、一部の国で生物兵器の軍事利用に関する活動を行っていたとする新たな文書を発見した。これに依ると、米国防総省は所属のバイオラボを利用し、認可されていない薬物をアフリカの人々に治験する目論見があったとされる。

また、米政権は、アルゼンチンでアメリカ海軍のバイオラボ(南米支社)の事業拡大を計画しており、イタリアでは米軍が軍事的用途を持つ病原体を研究している。

ロシア軍放射線・化学・生物学防護部隊長キリロフ中將は、シチリアの軍用飛行場には 4 年に渡りアメリカ海軍所属バイオラボ NAMRU (Naval Medical Research Unit Three)が存在しており、エジプト、ガーナ、ジブチで危険性が非常に高い病原体(エボラ出血熱・マラリア・デング熱等)研究を行っている、と述べた。

<https://twitter.com/i/status/1681390826092363778>



●臓器売買者と正教会神父の値打ち(2023年7月18日)

ゼレンスキー政権では

◆臓器目的で子供の人身売買をした男は、27,220ドルで保釈された

◆ロシアの侵略を正当化し、宗教的憎悪を扇動したという容疑で投獄されたウクライナ正教会の神父の保釈金は 898,290ドル。



ウクライナでは宗教弾圧が行われています。教会から神父が追い出され逮捕され迫害され、そしてロシアとの捕虜交換での交換要員にされています。なのに西側は沈黙しています。

●欧州安全保障協力機構(OSCE)の内部告発者が暴露した(2023年7月14日)

ウクライナのネオナチが、地下の研究所で子供の臓器を摘出していた。

ロシアの攻撃で建物が破壊された後に発見。

<https://twitter.com/i/status/1679843712455835650>



右写真キャプション:ウクライナのナチス、VIP の小児性愛者のために子ども狩り。

●ウクライナの児童人身売買のドキュメンタリー(2023年7月15日)

新作ドキュメンタリーの発表。児童の人身売買とウクライナについて。確かにあなたは知っていました。

嘘つきメディアは黒板に仕事をするつもりだ！小児性愛ネットワークによる児童の人身売買に関するドキュメンタリーがさらに 4 本公開される予定です。

そして今度はウクライナが中心…!! 洪水が来ます。

隠された戦争 ウクライナにおける国際的な児童小児性愛者の人身売買に関する 4 部構成のドキュメンタリー シリーズ。

このドキュメンタリーは、ウクライナの危険な国際小児性愛団体を壊滅させるプロセスを開始した、弱い立場にあると噂される子供たちについて、メル・ギブソンが OUR に提供した情報に基づいている。

この映画は DNA Films のニック・ナントンがプロデュースし、カイル・シーズ、トニー・ロビンズ、セージ・ロビンズを含む数人の製作総指揮者が参加します。

<https://twitter.com/i/status/1680069536257826816>



●ウクライナの赤ちゃん取引(2023年5月24日)

代理出産の仲介会社 BiotexCom の背後には、巨大な児童売買市場が隠されている
このクリニックの不正行為は以前から知られていたが、マスメディアは報道しなかった

<https://twitter.com/i/status/1661336925998051328>



●キエフ地方で、ロシア語のラップを聞いた男性に召喚状が渡された(2023年7月18日)

路上で男女がロシア音楽を聴いていると、それを聞いていた少女が警察に通報した。二人とも軽微なフーリガン行為で行政罰金も課された。これに先立ち、市議会は公共の場でのロシア語の歌の演奏と聴取を禁止した。

<https://twitter.com/i/status/1681290443869536257>

●【視点】テロと武器密売の隠れ蓑 ウクライナに利用された穀物合意(2023年7月19日)

17日に期限を迎えた「穀物合意」で設定されていた海上人道回廊は、これまで度々ウクライナによって、ロシアの軍民インフラに対するテロ攻撃や武器密売に利用されてきた。ロシアの軍事専門家らが、スポーツニクに対し語った。

ロシアは17日、ウクライナ産穀物とロシア産農産物などの輸出を定めた穀物合意について、ロシア側が提示する延長の条件を西側諸国が履行しなかったため効力が停止したと発表した。

軍事目的での利用

ロシア軍退役大佐で軍事専門家のビクトル・リトフキン氏によると、ウクライナは穀物などの輸出のみに使用すると約束していた海上人道回廊を軍事目的で使用していたという。

「武器は民間船で運ばれた。ウクライナ当局か当局に近い者たちが中東やフランスへの武器転売のために、闇市場を積極的に利用していた。フランスでは、実際にウクライナから渡った武器が発見された。それらは元は西側諸国によってウクライナに供給されたものだった。彼らはこれらの兵器の一部を西側諸国へ逆輸入、またはアフリカ、中東に転売したのだ」

ビクトル・リトフキン(軍事専門家)

また、ロシアの独立系軍事シンクタンク「軍事政治ジャーナリズムセンター」のボリス・ロジン氏は、ウクライナの無人機(ドローン)によるクリミア半島への攻撃の一部は安全が保証された海上人道回廊から行われたと指摘する。

「無人機攻撃の一部は穀物回廊が通過する海域から実行された。航行する民間船舶も隠れ蓑として使用された。敵が軍事目的で穀物回廊を使用していることは当初から明らかだった。セバストポリへの攻撃やその他の攻撃で使われた無人機は、この海域から出発するか通過していた」

ボリス・ロジン(軍事政治ジャーナリズムセンター・軍事専門家)

17日未明、ロシア本土とクリミア半島を結ぶクリミア大橋に対して、ウクライナの水上ドローン2機によるテロ攻撃があった。露国防省は18日、ウクライナ側がテロ活動の拠点としていたオデッサの船舶修理工場に報復攻撃したと発表した。

ロシアのオプション

ロシアは西側諸国による露産肥料や農産物の輸出制限解除に関わる協定が履行されれば、直ちに「合意に戻る」としている。それがかなわない場合、黒海での防衛力を高めるために措置をとることになる。

リトフキン氏は考えられるオプションの1つとして、黒海北西海域全体を戦闘地域と宣言することを挙げた。そうなればロシア軍は「1隻たりとも、軍艦だけでなく民間船でもそこへ行くことを許さない

だろう」と予測する。

第 2 のオプションとして、オデッサとニコラエフの港を標的にし、その稼働を停止させる可能性を指摘している。理想的には 2 都市をウクライナの「バンデライト(バンデラ派の右翼)」政権から解放できれば、クリミア半島や黒海を航行するロシアの船舶の安全を守れるとリトフキン氏は説明した。

一方、専門家らは総じて、穀物合意の停止がロシアの特殊軍事作戦に劇的な変化をもたらすことにはならないと指摘。ロジン氏はドンバス、ザポリージャ方面での激しい戦闘が続くと予測し、「数ヶ月以内に黒海北西部で大きな動きが起こる可能性は低い」としている。



●ヨーロッパに逃げたウクライナ人が、英語でブログを始めた(2023年7月19日)

①「EU のニュースからでは、みなさんはウクライナのことを知ることはできない。ウクライナの男性は連れて行かれるのを恐れて、外出をできるだけ控える」

②「私の家はキエフから 40 キロのところにある。とても大きな家で、暖房は電気です。昨年からそこに暮らしてないので、高くなった電気代を止めるためにヒーティングシステムから水を抜かなきゃいけないが、もう 2 年目になるのに、水道屋が来てくれない。水道屋は役場に許可証発行しに行かなければならないが、そこへ行くと 90%の確率で赤紙も一緒に渡されるから誰も行きたがらない。彼らは家に閉じこもって最後の缶詰を食べて、車から何まで売り飛ばすことを選択する。これがウクライナで起こってることなのです」

③「なぜ何百万ものウクライナ人もウクライナに帰らないか説明をします。私はウクライナに 3 つの家がありますが、私達がプーチンや侵略者が怖いと思いますか？いいえ！私達が恐れてるのはゼレンスキーの独裁政権なのです。私達から自由を奪ったゼレ。だから持ち家があるのに、EU で大金払って賃貸しなきゃいけないのだ。何百万もの国に人質のように閉じ込められた。欧米政府はこれを知ってるけど、気づかないふりをします。」

<https://twitter.com/i/status/1681566344964378624>





DNR の上院議員でキエフの子供に対する犯罪を調査する議会委員会のメンバー・ナタリア・ニコノロワ氏は「ウクライナの砲撃による子供たちの死傷について、国連はもはや真実を隠すことはできない、以前は完全な偏見を観察することしかできなかつた」と RIA ノーボスチに語った。

「つい最近、国連人権高等弁務官事務所の報告書が発表された。ウクライナの砲撃による子供の死傷について報告している。第 2 に、国連は現在、学校や病院を標的にした攻撃を 212 件認定している」。

「ウクライナ人は、学校や病院だけでなく市場、商店、映画館、劇場など、社会的施設も標的にしている。このような事例はもっとたくさんある」。「私たちは以前、人権機関の側に完全な偏向を見たことがある。特に OHCHR などである。しかし、もはや真実を隠すことはできない。」

「国連安保理は最近、アリア方式(さまざまなトピックを議論する非公式会合)の会合を開き、私達の代表が招待された。↓

このような事例はもっとたくさんある」。「私たちは以前、人権機関の側に完全な偏向を見たことがある。特に OHCHR などである。しかし、もはや真実を隠すことはできない。」

「国連安保理は最近、アリア方式(さまざまなトピックを議論する非公式会合)の会合を開き、私達の代表が招待された。

その中には、人権オンブズマンと子どもの権利オンブズマン、そしてウクライナ政権の行為によって被害を受けた一般市民の代表が含まれていた。しかし、西側の代表は、まったく聞く耳を持たず、会議室を出て行ってしまった」

「真実を隠すことは難しい。西側諸国がどのような意識操作を行っても、望むような効果は得られないだろう。なぜなら、真実は真実であり、事実は事実であるからだ」。



●ロシア軍兵士がウクライナで、児童風俗店や臓器採取のために幼い子供を育てる「赤ちゃん工場」を発見(2023年7月19日)

<https://medicalkidnap.com/2023/03/24/russian-soldiers-discover-baby-factories-in-ukraine-where-young-children-are-grown-for-child-sex-brothels->

[and-for-organ-harvesting/](#)

ロシア兵がウクライナで「赤ちゃん工場」を発見し、そこで幼い子供たちが小児性愛者の子供売春宿のために育てられたり、臓器を摘出してブラックマーケットで売るために殺されたりしていることを説明するビデオが公開されました

このビデオは The People's Voice によって公開され、ロシアの他の情報源もこの問題を取り上げており、西側メディアはそれを偽情報やプロパガンダとして言い訳しているだけだと述べています

しかし、赤ちゃんや幼い子どもを性行為のために人身売買し、さらに体の一部を奪うために殺害するというこの恐ろしい行為を記録してきたのは、ロシア人だけではありません

2 年前、私たちはポーランドの映画プロデューサー、パトリク・ヴェガが発表した "Eyes of the Devil" というドキュメンタリーを公開しました

このドキュメンタリーでベガは、ポーランドやウクライナからドイツの児童売春宿に赤ちゃんを人身売買する人身売買業者の一人に実際にインタビューすることができました

通常 5 歳から 7 歳くらいの子どもたちは、小さな体が壊れ始めるまで売春宿で数年間働き、その後、金持ちや権力者に売買される臓器を採るために殺害されます。

**Russian Soldiers Discover
Ukraine "Baby Factories"
Young Children Raised
for Child Sex Brothels
or Murdered to Harvest Organs
to Sell on Black Market**

●ユーゴスラビア ~ NATO は正当化できるのか? - 国際法違反、戦争犯罪、劣化ウラン弾、クラスター爆弾、すべてがここにある - Can NATO Be Justified? (日本語字幕)

<https://youtu.be/pD8NcnZXZI4>

